

RUMBLE IN THE BRONX



School
Rumble

Adult Only

RUMBLE IN THE BRONX



School
Rumble

Adult Only

★まえがき★

こんにちわ。
初めての方ははじめまして。
そうでない方はお久しぶりです。
ポカポカあったかくなってきましたが
私は24時間働いています。

ウソです。ゴメンナサイ。
24時間だったら体力もたないよ…。

という事で今回はスクールランブル本です。
絵柄がかわいくてとてもいい作品ですねー。
アニメもやってるみたいなんですが
そちらの方はまだ見た事ないです。
結構作画や動きも良いとの情報を聞くんで
一度見たいとは思っているんですが
時間の都合でなかなか…
お仕事イッパイイッパイ…。

と、愚痴ってもしようがないんで
前向きに頑張りたいと思います。
ポジティブシンキングって大事よね。うん。

ランブル・イシガ・ブロンクス

RUMBLE IN THE BRONX

播磨、唐突に修羅場。



お嬢…

な、なんだよ…?
話つてのは?



妹さん…?

f f 69 | a one & a two

Story : リヒャルトつづく
Art : 桐生蒼八



この娘と
どうなっているのか
ハッキリなさい!

い、いや…
ハッキリも…
何も…



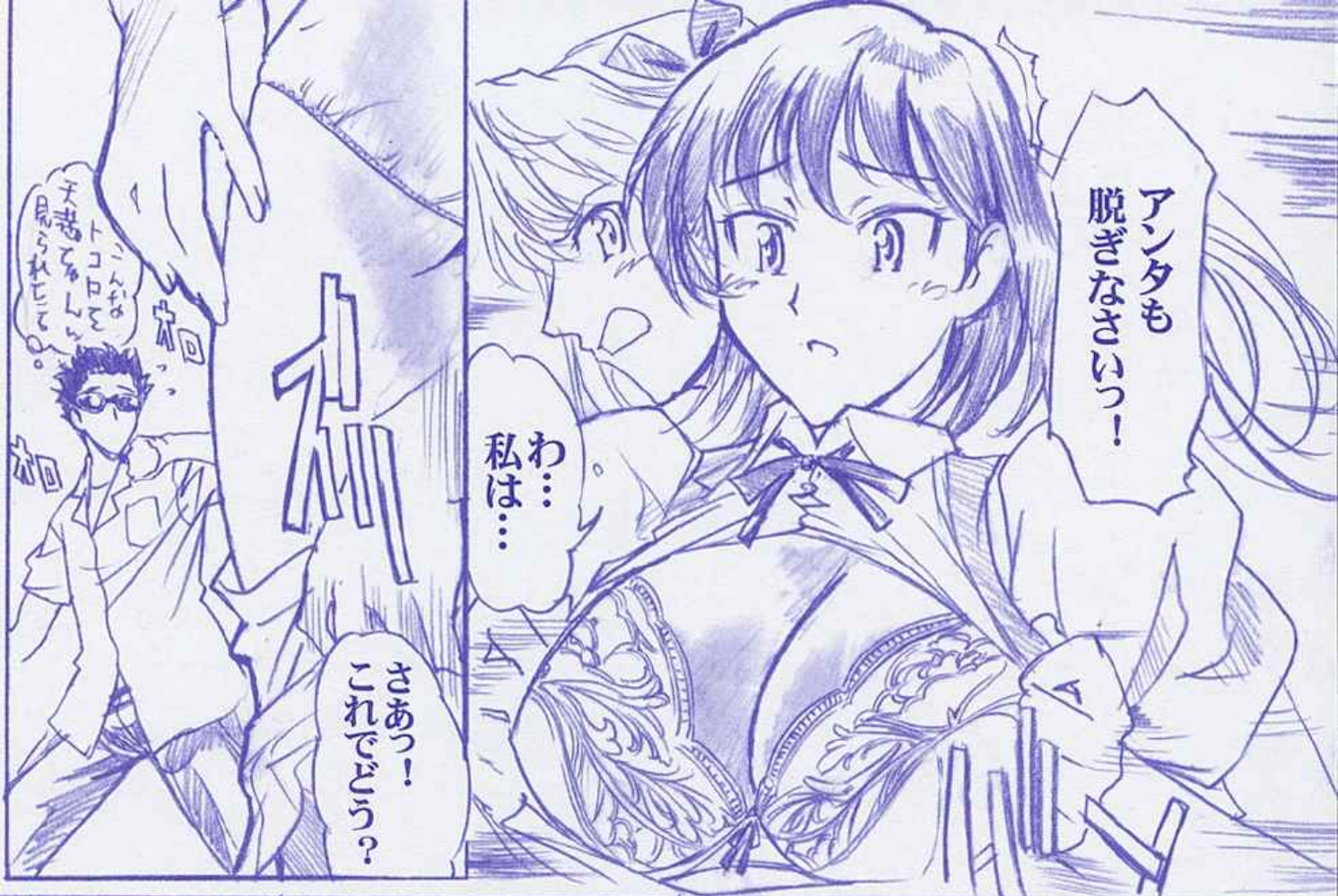
なっ
何を?

こーなったら…
これでどう!!



オオオオオ

あー、もおつ!
じれったいわね!



アంతタも
脱ぎなさいっ！

わ：
私は……

さあっ！
これだわっ！

天啓のシロモノ
大昔のシロモノ
天啓のシロモノ

加



あの娘と私
どっちが!?より!!

魅力的か!
答えなさいよ!!

さあっ!



何か
しなさいよ!!

天地創造以来
未曾有の
大ピンチ!!!



い、痛っ!!
ソコ違...ッ

イヤッ!

止めなさいよオ
そんなトコロ
イジらないで...

入んないっ
...やっ

くっ...
くっ...

動かんな...いで...

切れちゃっ...

違つトコロ=尻穴。



イヤアア!
出さないでよおお



播磨さん…

鎮まいて
お願い
…



フオオオ
オツオオオ!



硬い…

拳児、八雲でもう一戦。



しても…
いいです…



んっく…
んんうう

あ…んん
は…激し…
ゆっく…

播磨の台詞は『究極！変態仮面』風に叫べ



あつあ
いっ……く……



ホラ!!
アンタも
行くわよ!!

全く、犯られ
損じゃない!!



なんで
アタシは
お尻なのよ!!

ぐわわ!!

——ファイニッシュはスパイラルDDT。



■ 沢近 愛理 ■

オレは金髪に弱い。
ハーフに弱い。
高飛車な性格に弱い。

そんなオレの弱点を見透かされたかのように、
全て持っている沢近。恐ろしい。
カッキー作ってくれないかなあ。
肉じゃがでもいいぞ！

世の男はすべからく手料理に弱いものだ。
そうだよな。な、な、な？



■ 塚本 八雲 ■

八雲かわいいよ、八雲。

彼女の魅力は、ちょっとミステリアスなところ。
自分に好意を持っている人の心が見えるせいで、
他人とはちょっと距離を置きがち。
それでも成績優秀。容姿端麗。料理万能。
アンタは完璧超人か！と思うくらいに出来過ぎてる。
そりゃあ男が放っとないうて。

オレも「枝豆とソーセージのパスタ」が
食いてええええええええええ！！！！（大炎上）

School Rumble

を語ってきましょう

恋愛は聞いた！

by. リヒャルトつく

アニメも佳境に入って益々盛り上がるスクラン旋風。
今回はその辺りについて検証してみよう！

まず辞書を引いてみましょう。すると…

☆ rum・ble

—— n., v. ごろごろ、がらがら

(と鳴る、とどろく[かせる]);

(車)がらがらと行く

; がらがら声で言う ((out));

[米] (自動車後部の) 無蓋折りたたみ座席

(rumble seat);

馬車の後部の従者席[荷物席];

[米俗] 決闘、けんか。

三省堂提供「EXCEED 英和辞典」より

詰まるところこの「School Rumble」というタイトル
直訳してしまうと「学校の闘い」となるワケです。

ちょっと見た感じでは、学園ラブコメものに見えますが
読みこんでいくと不条理ギャグ漫画ではないかと言う

疑問がふつつつと沸いてきます。

それがこのタイトルに込められている所でしょう。

「恋愛とは聞いた！」と。

フツー、ラブコメって言えば

「好きあつてる二人がくつつきそうにくつつかない」か

「付き合い始めた二人が、試練を乗り越えて成長していく」

のどちらかだと思うのですが。

ところがこのスクランではそうではない！

恋愛漫画にありがちな、好きのベクトルの方向が

各人バラバラだからだ。

しかもバラバラどころかどこ向いてるのかわからない人までいる。

それはまるで不良漫画に出てくるの

各校の不良同士に関係のようだ。かなりそれに近い。

(続く)

不良漫画だと、学校制覇→地域制覇→県内制覇→全国制覇
みたいな感じでお話が進んでいくワケです。

それは聞くべき相手がいて、それを倒す。という図式ですね。

しかし、これが恋愛漫画の場合どうなるのでしょうか。

もちろん倒すべき相手はそのまま恋愛対象となりえますね。

大きく違うのは相手を倒してしまうと話が終わってしまう点です。

「くつつきそうで、くつつかない」系のお話ではくつついてしまうと

そこでジ・エンドになってしまうので、それは不可。

すでに付き合っているなら、聞く必要もないので、それもあり得ない。

スクランの場合だと、聞く相手同士が同意していないことが多いので
さらに厄介。それ以前に、聞くべき相手

この漫画では恋愛対象がハッキリしているのは

播磨と天満の二人のみなのも注目すべき点でしょう。

その他の人物は自分の気持ちに気が付いていない人たちです。

八雲や沢近などが典型ですね。

話がそれますが、実は花井もそういう人物だと思っています。

周防が好きなのは明白でしょう。

花井本人が自分の気持ちに正直になれば

八雲にも見えなくなるのではないのでしょうか。

閑話休題。話を元に戻しましょう。

恋愛の当事者たちが、自分の気持ちのみに目を向けて

周りが目に入らなくなっていく。

そんな青春の闘いの叙事詩。それがスクラン。

この闘いはいつ終わるのでしょ。

ネットでは諸説流れているようですが

どの例をとっても敗北者は出てしまいます。

フツー恋愛漫画ではなんとか救済策が取られるものですが

この分で行くと余ってしまう人物が出てしまいます。

そんな残酷さを影に秘めたところが

「闘い」に焦点を絞った結果ではないのでしょうか？

かなり強引に話を展開してしまいましたが

これが「ラブコメマンガ」のひとつの新しいカタチではないか

と思っています。

お約束的に、なし崩しに付き合ってしまう美男美女や

さえない男子がいつの間にかモテモテになってしまうなんて

そうそうあり得ないですよ。むしろ「好きなんだけど

その人を前にしてしまうと言葉が出ない」とか

「こんなにアプローチしているのに気付いてくれない」とか

そんな非常識の中に存在するリアル感が受けた原因ではないのでしょうか。

ラブコメのようでラブコメでない。

ラブコメでないようでラブコメ。

それがスクランの魅力であり、良さではないのでしょうか。

強引にまとめてみました。

アニメも本誌の連載も今後の展開に期待して

筆を置く事にいたします。では、またお会いできたら。

School
Rumble
を語ってみましょう

END

☆姉ヶ崎 妙☆

こんなおネーさんが
保健室にいるなど許せん！
オレが癒されたい。

School
Rumble
を描いてみました。

☆一条 かれん☆

エロくしてみた。裸とダンベル。
そこに漂うエロス。
技はかけないでください。

School Rumble

を描いてみました。

☆西本 願司☆

まさに「漢」
男子たるもの
かくあるべきである。
うむ。見習おう。

☆播磨 拳児☆

けっこうスギ。
なんかはわからないけど
拳法風。こんな感じもイイね。

やら

★あとかき★

如何だったでしょうか？
スクールランブル流行ってますねー。
こういうところで流行に敏感になれると
いいんだけど、もうオッサンなんで
ついていくのも精一杯です。

そういえば、アニメを見ていない
どころかゲームもほとんどやってないなあ…
買って遊ぶ時間がありません。
どんどん積み上がってゆくゲームの塔に
怯えながら暮らす日々。
どこかヒマがあれば遊びたいと
思う意思はあるんだけど…。
一体いつになったらこの塔を崩せるのか
見当もつきません。ハハハ。
誰かたーすーけーてー！！

最近ちょっと体調が悪くなっただけですが
まあぼちぼち頑張ってます。
いろいろお仕事やっていますんで
もしそれっぽいを見かける事があれば
よろしくお願いします。

2005年3月・横田守

ランブル・インザ・ブロンクス

RUMBLE IN THE BRONX



RUMBLE IN THE BRONX

ランブル・インザ・ブロンクス



典付

発行: 丹下拳闘倶楽部

印刷: JC2



※本書の無断複写(コピー)や
転売行為、ネット上へのアップロード等は
著作権上での例外を除き、禁じられています。

SCHOOL RUMBLE
RUMBLE
IN THE
BRONX
TANGEE KENTOU CLUB ● ILLUSTRATIONS ● BOOK

